

《参考文献》

Chitosan decreases total cholesterol in women: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.

(キトサンは女性の総コレステロールを減少させる:
プラセボ対照ランダム化ダブルブラインド試験)

H. Bokura and S. Kobayshi, *Eur. J. Clin. Nutr.*, **57**, 721-725 (2003).

要約: プラセボ(乳糖)を対照としたダブルブラインド試験において、高コレステロール血症傾向の平均年齢56.6歳(34~70歳)の女性84名(キトサン群41名、プラセボ群43名)に、1日当たり1.2gのキトサン(カプセル充填)又はプラセボ(乳糖)を56日間(8週間)経口投与した。投与前及び投与4週間、8週間後の血清脂質、血圧、体重、BMI値を測定して解析した。結果、両群で血圧、体重、BMIに大きな差はなかったが、キトサン群ではプラセボ群に比べて、血清総コレステロール値が有意($p=0.04$)に低下した。閉経後と考えられる60歳以上の対象者においては、キトサン群がプラセボ群に比べて、総コレステロール、LDLコレステロール値を有意に低下する傾向を示した。これはホルモンとは関係なしにキトサンにコレステロール低減作用があることを示唆している。キトサン投与における副次作用については、喉の渇き3例、口内炎1例があったが、臨床検査値の変化は非常に小さく一過性のもので、症状に繋がるような臨床検査値の異常は見られなかった。これらの結果は、キトサンの安全性とコレステロール低減への有効性を示している。

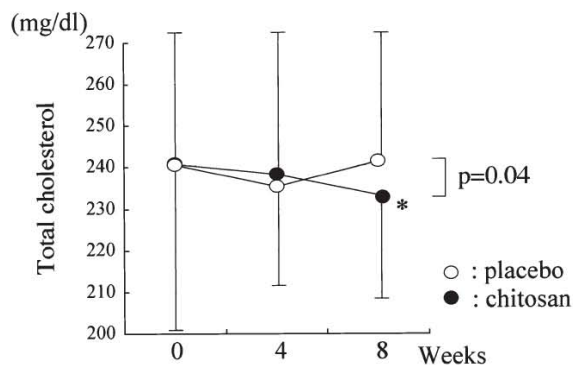


図2 キトサン投与群(n=41)とプラセボ群(n=43)の総コレステロール値の変化

●:キトサン群、○:プラセボ群。

* $P<0.05$ 投与前の値との比較。

キトサン群とプラセボ群で有意差($P=0.04$)が確認された。

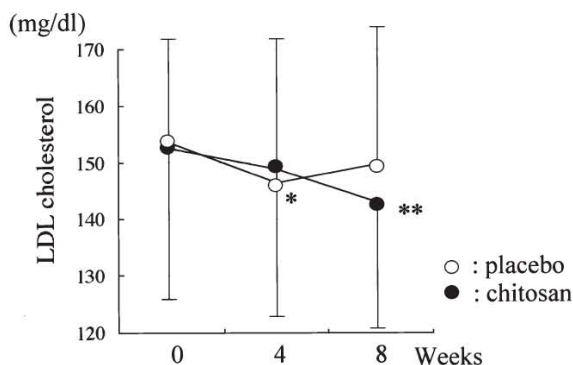


図3 キトサン投与群(n=41)とプラセボ群(n=43)のLDLコレステロール値の変化

●:キトサン群、○:プラセボ群。

* $P<0.05$, ** $P<0.01$ 投与前の値との比較。